

1 議題「秋のパーティーをしよう」

(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

2 議題について

(1)児童の実態

本学級の児童は明るく活発で、何事にも意欲的である。また、仲が良く、困っている友達を手伝ったり、協力して物事に取り組んだりする姿がよく見られる。しかし、自分の意見を伝えようとするあまり、教師の言葉や友達の意見を聞いていない児童や、自分の気持ちをうまく伝えることができない児童がいる。

学級活動では、決まったことを実践することに喜びを感じている児童が多く、計画委員会や実践のための準備を進んで行うことができる。しかし、学級会では、自分の気持ちを優先し、提案理由に沿った意見や友達の意見に耳を傾けることが難しい児童がいる。そして、発表することが目的になっており、賛成意見や反対意見を繰り返して伝えることで話し合いが停滞してしまうことが多く、時間内に終わらないことがある。そのため、反対意見ばかりになるときは、それを解消するためにどうしたらいいかも付け加えて発表するように声かけをしている。また、意見を伝えることが苦手な児童には、あらかじめ自分の意見をまとめる時間を設けるようにしている。現在では、話し合いを進めることを意識した発言ができる児童が少しずつ増えてきている。

(2)議題選定の理由

児童は6月に学級会で「雨がふったときのあそびを考えよう」という議題で話し合いを行った。雨の日が続いて外遊びができず、教室や廊下を走る児童がいたり、けんかをする児童がいたりしたので、楽しく安全に遊べるようにとの思いから提案された。その後、雨の日になり、学級会で決まった「いすとりゲーム」や「腕相撲大会」等を、児童が主体となって行い、とても盛り上がった。この経験から、安全に気をつけた室内の遊びでも、みんなが楽しめて仲良くなれたことを実感したようだった。また、9月には、みんなのことをもっと知って、一緒に楽しめる遊びを増やしたいという思いから提案された「とくぎしょうかいをしよう」という議題で話し合いを行った。当日は、教室で特技を紹介し合う中で、よく知っていると思っていた友達の新たな一面に驚く様子が見られた。

本議題は、そのような経験から、「全員で楽しい活動をすることで、もっと仲を深めたい」「もっとお互いを知ってよいクラスにしたい」という気持ちから提案された。他にも「ハロウィンパーティーをしよう」「ダンスパーティーをしよう」「お笑い大会をしよう」等といった提案があり、「みんなにもっと楽しんでもらいたい」「クラスみんなが参加して楽しめるものを行いたい」という気持ちから出されたものだった。それらの気持ちを踏まえて計画委員会で相談し、どのようなパーティーにするかを話し合っ実践することで、よりクラスみんなの仲を深めることができると考え、議題として選定し、学級全体で決定した。

(3)指導にあたって

お互いを知って、もっと仲を深めたいという提案理由に沿った意見を考えやすいように、事前の計画委員会で、教室に計画ノートや、学級会当日の議題、提案理由を前もって掲示しておく。また、意見を伝えることが苦手な児童が自信をもって発言できるように、タブレットを使ってあらかじめ意見をまとめている。タブレットを使うことで、友達の意見を共有しやすく、自分の意見の参考にしたり、よいと思う意見を事前に考えたりすることができている。

話し合いが停滞してしまった場合に、何について話をしているのかを再確認したり、近くの人同士で話し合う時間を設けたりして、よりよい合意形成ができるよう、計画委員会の中で司会と綿密に打合せをする。また、全員の意

見を書いた短冊を整理して、お互いの意見を「比べあう」ことから話し合いを始めることができるように、黒板記録とも打合せを行う。

学級会当日は、提案理由に沿った話し合いができるよう、最初に前回までの振り返りを行う。自分の意見だけを言うのではなく、友達の意見をしっかり聞き、それを生かした話し合い活動ができるよう指導していく。終末の助言では、児童から出た合意形成に向かう手がかりとなった意見を紹介することで、次の話し合いで生かしていけるように指導していきたい。

3 活動の流れと指導助言・評価規準

	活動内容	日時	指導助言	評価規準
話し合いの計画・準備	議題選定 (計画委員会)	9/28 業間	議題を整理し、議題の条件を確認しながら選定するよう指導する。	○議題決定の仕方について理解している。 (知識・理解) ○「秋のパーティーをしよう」について見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 (主体的態度) 計 提案理由に沿った話し合いの進行の行方を理解している。 (知識・理解)
	議題決定 (全員)	10/2 朝の会	計画委員会の提案のもと、学級全員で決定する。	
	話し合うことの検討・役割の確認 (計画委員会)	10/2 業間	話し合いのめあてや内容、順序、時間配分を考えて計画を立てるよう助言する。	
	話し合うことの決定 (全員)	10/3 朝の会	話し合うことを全員で把握し、見通しをもって取り組めるようにする。	
	自分の意見をまとめる (全員)	10/12 朝の活動	提案理由に沿った自分の意見がもてるよう、助言する。	
	意見を整理する (計画委員会)	10/18 業間	書かれた意見を整理し、スムーズに話し合いができるよう助言する。	
話し合い	「秋のパーティーをしよう」(全員)	10/24 (本時)	本時の活動に記載	
実践	準備 (全員)	10/24~ 11/8	当日の係を決める。準備の内容を把握し、友達と協力しながらできるよう助言する。	○合意形成したことをもとに、全員で協力し、進んで準備に取り組もうとしている。(主体的態度)
	実践 (全員)	11/9 5校時	主体的に活動に参加できているかを見守り、適所で助言や称賛をする。	○提案理由を意識しながら友達と協力して活動している。 (思考・判断・表現)
振り返り	活動を振り返り、生かす (全員)	11/9 帰りの会	自他の行動を振り返り、よかったところを実感できるようにし、次への意欲付けをするとともに、次回に生かせるよう助言する。	○実践を振り返り、自分や友達のよいところを見つけ、次の活動に生かそうとしている。 (主体的態度)

4 本時の活動

(1) ねらい

自分や友達の意見を大切にし、クラスの仲が深まるような「秋のパーティー」の計画を立てることができるようにする。

(2) 活動計画

第6回 計画委員会ノート 10月24日 火曜日 4時間目	
役割分担	司会
	黒板記録
	ノート記録 タブレットで写真をとる。
議題	秋のパーティーをしよう
提案理由	今しきょうかいで自分のことを知ってもらえてうれしかった。みんなの知らないところがあると分かってほしい。 だからみんなのことをもっと知ってなかなかりたいからみんなと楽しくする秋のパーティーをしたい。 そうするとクラスのなかが、もっとよくなる
決まっていること	日時・場所 11月9日木曜日 5時間目 場所(ランナールーム)
話合いのめあて	クラスのなかが、よくなるような秋のパーティーの計画をたてる

気を付けること

司会 時間ないにきめられるように話しを進める。	黒板記録 みんなの言いきりきいてみじかきとめる
話し合うこと① (20)分 どんなパーティーをするか。	話し合うこと② (15)分 なかがよくなるためのくふう
振り返り	
次の計画委員さんへ	

(3) 指導助言

・提案理由に沿った話合いができ、自分たちの力で決めることができるように見守り、必要に応じて計画委員や学級全体に助言する。
・終末の話では、合意形成に向かう手がかりとなった意見や、話合いが深まったポイントを称賛し、次時の実践に向けての活動意欲を高める。

(4) 評価規準

・提案理由に沿って、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりしている。
・友達の思いや意見を尊重しながら、「秋のパーティー」の内容や工夫について考えている。

(思考・判断・表現)